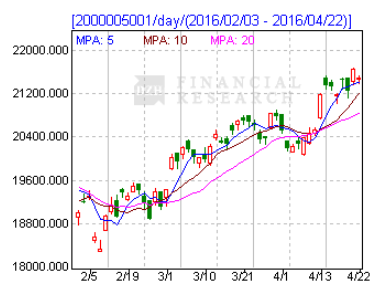


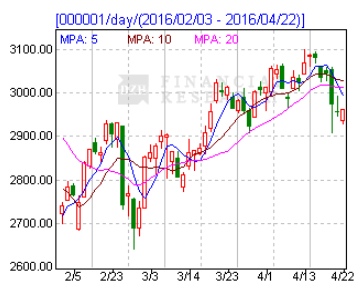


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,003.75	21.23	0.12	0.59	3.32	17,425.03
NASDAQ	4,906.23	-39.66	-0.80	-0.65	-2.02	5,007.41
日経225	17,572.49	208.87	1.20	4.30	-7.68	19,033.71
上海総合	2,959.24	6.35	0.22	-3.86	-16.39	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,174.90	14.30	0.45	-2.97	-14.90	3,731.01
ハンセン	21,467.04	-155.21	-0.72	0.71	-2.04	21,914.40
H株	9,120.91	-127.49	-1.38	-1.02	-5.59	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.7%高と続伸、上海総合指数は3.9%安

ハンセン指数は1週間で0.7%高と続伸。原油相場を意識した相場が続き一進一退の展開となった。ハンセン指数は17日の産油国会合での増産凍結見送りを受けて続落して始まったが、原油相場が需給改善期待から持ち直すと地合いが改善。21日には前日の原油相場的大幅続伸を受けてハンセン指数は終値で年初来高値を更新した。上海総合指数は1週間で3.9%安と反落。企業の債務不履行リスクやIPOによる需給悪化などが警戒され、20日には上海総合指数が8営業日ぶりに節目の3000ポイントを割り込んだ。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、日米の金融政策イベントに注目

香港市場は上値の重い展開が見込まれる。ハンセン指数は年初来高値圏で利益確定売りが出やすい状況であることに加え、26-27日の米FOMC、27-28日の日銀金融政策決定会合と日米の金融政策イベントを控え積極的な売買が見送られる公算が大きい。中国で追加金融緩和期待が後退していることもマイナス材料。一方、本土市場は弱含みの展開か。先週20日の急落で上海総合指数は3000ポイントを割り込み、再び慎重姿勢が強まっている。しばらくは3000ポイントが上値抵抗線として意識されそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 香港証券取引所(00388)	204.00	5.81
2 HSBC(00005)	52.15	5.78
3 ペトロチャイ(00857)	5.60	5.07
4 AIAグループ(01299)	46.80	4.12
5 百麗国際(01880)	4.88	3.61
6 CNOOC(00883)	10.08	3.60
7 リー&ワン(00494)	4.98	3.11
8 昆侖能源(00135)	6.90	2.83
9 恒隆地産(00101)	16.12	2.28
10 長江インフラ(01038)	75.20	2.10

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サンス・チャイ(01928)	28.30	-6.75
2 チャイ・ユコム(00762)	9.41	-5.90
3 中国人寿保険(02628)	18.80	-4.76
4 華潤電力控股(00836)	14.16	-4.58
5 銀河娛樂(00027)	27.50	-4.51
6 康師傅控股(00322)	8.99	-4.26
7 電能実業(00006)	78.15	-2.74
8 招商局国際(00144)	23.25	-2.52
9 長江和記実業(00001)	96.90	-2.42
10 ホンコン・チャイナガス(00003)	14.60	-2.01

▼今週の期待材料

- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き6800億元を市場に供給、供給規模は過去2番目の大きさ
- ◆27日に中国の1-3月の工業企業利益発表、景気の回復を裏付ける強い内容なら相場の下支え要因に
- ◆中国本土企業の16年1-3月期決算の発表が佳境に、好業績企業には物色の予先が向かう可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆26-27日に米FOMC、27-28日に日銀金融政策決定会合、日米の金融政策イベント控え慎重姿勢強まる公算
- ◆中国の追加金融緩和期待が後退、3月の経済指標の改善や不動産バブル懸念で追加緩和に動きにくい状態に
- ◆中国政府が先物市場の過熱抑制策を発表、取引手数料の引き上げや投機的売買の制限を導入

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ シノペック上海石化 (00338) : 27日発表の1-3月期決算は純利益20倍超の見通し
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 中国中鉄などと組み成都の高速道路プロジェクトを落札
- ☆ 瑞年国際 (02010) : 空売り業者グローカスと和解、財務めぐり不透明感払しょく
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 27日に1-3月期決算を発表、純利益3.4-3.7倍の見通し
- ☆ 恒大地産 (03333) : 深セン上場の不動産デベロッパーの株式53%を取得
- ◇ 利福国際 (01212) : 中国事業を分離上場、紹介形式で香港メインボード上場へ
- ◇ 中国銀行 (03988) : 26日に1-3月期決算を発表、市場予想は0.2%増益
- ★ 華潤セメント (01313) : 1-3月期決算は99%減益、販売価格の下落響く
- ★ 北京汽車 (01958) : 傘下の北京ベントの1-3月期決算は3%減益
- ★ 長城汽車 (02333) : 1-3月期決算は6%減益、管理費などコスト増響く

▼今週の主なイベント

- 4月26日(火)
 - 【香港】貿易統計(3月)
 - 【米国】FOMC(27日まで)
- 4月27日(水)
 - 【中国】工業企業利益(1-3月)
 - 【日本】金融政策決定会合(28日まで)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。